

政治的教養を育むために

平成27年6月19日に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が、これまでの「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられました。このことにより、高校生を含む18歳、19歳の人投票できることとなり、子どもたちの政治的な教養を育むための教育がますます重要となっています。

京都府では、3つの視点で、子どもたちの発達段階に応じて、小学校から高校まで一貫した教育を進めています。

★家庭★

家庭では、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、規範意識やコミュニケーション能力を高め、自立心を養う環境をつくるのが大切です。

また、子どもたちが家族や身近な人々と関わる中で、地域社会の課題に目を向けることが、主体的に社会参画・社会貢献する意識を育むことにつながります。

子どもに家族の一員としてお手伝いなどの役割を担わせたり、清掃活動など地域の行事に家族と一緒に参加したり、身近な課題について家族で話しあったりしてみましょう。

★高校★

地域と連携・協働する活動を主体的に行うことにより、地域社会の一員としての自覚を高めるとともに、共生するための相互尊重のルールを身に付け、民主的な社会の維持・発展を図るために必要な知識や見方・考え方を習得し、国家・社会の形成者としての資質を育てています。



京都府の主権者教育 3つの視点

政治的教養を育む実践

議会傍聴、模擬討論、模擬投票などの実践に取り組みます。

「法やルールに関する教育」の実践

社会の枠組みをしっかりと理解し、その中であるべき行動について考えます。

地域貢献・地域連携活動の推進

身近な地域社会の課題に目を向け、社会に参画・貢献する意識を育みます。

また、議会の傍聴、模擬選挙のマニフェストや選挙公報等の作成、ディベート、施策提言、模擬投票など、具体的・実践的な取組を行うことにより、社会参画意識や政治への能動的態度を醸成する取組を推進しています。

★小・中学校★

社会科や特別活動、総合的な学習の時間等の中で、身近な社会との関わりや国民の政治参加の重要性などについて学習します。また、地域でのボランティア活動や児童会・生徒会活動などを通じて、参画する態度や話し合いで合意形成する方法などを体験的に学んでいます。さらに、独自の「法やルールに関する教育」により、子どもたちが発達段階に応じてルールやきまりが必要な理由を考え、人とつながるために大切な「協力」「公平・公正」について学び、行動(ふるまい)につなげる能力・態度を身に付けることを目指しています。



このような学習や体験を幼児期から系統的に積み重ねる中で、「みんなのことはみんなで決める」という民主主義の考え方や基本的人権の一つである参政権への自覚を高めるとともに、相互を理解・尊重し合う共生社会の実現に向けて主体的に行動する力を育成しています。

★特別支援学校★

一人一人の発達や障害の状況に応じ「自分の気持ちや意見を自分なりの方法で人に伝える力」「友だちや先生の話をしっかり聞く力」「身近な地域社会のことに興味を持つこと」などを大切に主権者教育を行っています。

また、模擬選挙等の取組も、視覚的な支援などを工夫し、具体的なイメージが持てるようにしながら進めています。



参議院議員選挙

期日前投票所が 設置されました

期日前投票所が、7月7日(木)に南陽高校に、7月8日(金)に木津高校に設置され、生徒を含め、100人以上が投票に訪れました。当日は、両校で各2人の生徒が選挙立会人を務めたほか、多くの生徒がボランティアとして活躍しました。

選挙を終えた生徒達は、「選挙の公平・公正さや一票の重みを実感した」「テレビなどで選挙の情報を集めたり、選挙立会人を務めたりして、たくさんのことを得られ、自分の中で今後の大きな糧となる体験となった」と話していました。



府立高校生(全日制)の 投票率は73.4%でした

7月中旬から9月末にかけて、全ての府立高校全日制3年生を対象に「政治的教養を育む教育(主権者教育)について」のアンケート調査を実施しました。集計結果では、投票権を得た生徒のうち、73.4%が投票に行ったと回答しました。

全体的な特徴としては、「18歳未満は一切の選挙運動ができないことを知っている」とする割合が高い一方で、「ボランティア活動へ参加したことがある」「選挙運動と政治活動の違いを知っている」及び「電子メールを利用する選挙運動は候補者や政党等以外の者はできないことを知っている」とする3項目が低い傾向にあり、今後の課題と考えています。

今回の結果を参考にして、引き続き各校の主権者教育が充実していくよう支援していきます。

京都府議会を 府立高校生が 傍聴しました!

京都府議会本会議代表質問が、9月14日(水)～15日(木)に初めて北部(舞鶴市)で開催され、大江高校、東舞鶴高校、西舞鶴高校の生徒約500名が傍聴しました。



平成28年

夏の全国大会入賞者

全国高等学校総合体育大会(開催日:7月28日~8月20日)

《 団 体 》

順位	競技名	男女別	学校名	種 目
3位	ハンドボール	男子	洛北	学校対抗
5位	ウエイトリフティング	男子	海洋	学校対抗
	カヌー	女子	久美浜	学校対抗

《 個 人 》

順位	競技名	男女別	学校名	氏 名	種 目
2位	レスリング	男子	京都八幡	志賀晃次郎	66kg級
	ウエイトリフティング	男子	海洋	寺尾 篤哉	85kg級S
3位	ウエイトリフティング	男子	海洋	長谷 胤午	94kg級C&J、トータル
	ボート	女子	朱雀	四方 美咲	シングルスカル
	レスリング	男子	網野	伊藤 朱里	74kg級
	レスリング(公開競技)	女子	網野	植野麻奈美	46kg級
	ウエイトリフティング	男子	海洋	寺尾 篤哉	85kg級トータル
	ウエイトリフティング	男子	海洋	長谷 胤午	94kg級S
4位	なぎなた	女子	南陽	中熊 麻衣	個人
	カヌー	女子	久美浜	埋金 楓 小西 風花	カヌースプリント・カヤックペア(500m)
5位	カヌー	女子	久美浜	埋金 楓 大谷 未夏 小西 風花 山口真由子	カヌースプリント・カヤックペア(200m)、カヌースプリント・カヤックペア(500m)
	陸上競技	男子	宮津	奥田 大樹	やり投
	レスリング	男子	京都八幡	武元 優樹	55kg級
	レスリング(公開競技)	女子	網野	田村 生吹	46kg級
	レスリング(公開競技)	女子	海洋	今井 佑海	49kg級
	レスリング(公開競技)	女子	海洋	今井 海優	65kg級
	ウエイトリフティング	男子	鳥羽	木村 知哉	53kg級C&J、トータル
	ウエイトリフティング	男子	海洋	寺尾 篤哉	85kg級C&J
	自転車競技	男子	北桑田	三宅 大春	3kmインディビジュアル・ポイント
	ウエイトリフティング	男子	鳥羽	木村 知哉	53kg級S
6位	ウエイトリフティング	男子	加悦谷	片山 裕貴	105kg級S
	カヌー	女子	久美浜	埋金 楓 小西 風花	カヌースプリント・カヤックペア(200m)
7位	カヌー	女子	久美浜	森川 風輝	単独演武
	少林拳法	女子	洛北	鎌田 龍	
8位	カヌー	男子	久美浜	鎌田 辻 磯馬	カヌースプリント・カナディアンペア(200m)

その他の全国大会(開催日:7月17日~31日)

《 団 体 》女子ウエイトリフティング

順位	学校名	種 目
1位	鳥羽	学校対抗

《 個 人 》女子ウエイトリフティング

順位	学校名	氏 名	種 目
1位	海洋	井崎 茅夏	48kg級C&J、トータル
	鳥羽	橋本 重	53kg級S、C&J、トータル
2位	海洋	井崎 茅夏	48kg級S
	鳥羽	岡地 愛美	53kg級S、トータル
3位	鳥羽	島田 都希	75kg超級S、C&J、トータル
	鳥羽	岡地 愛美	53kg級C&J
4位	鳥羽	湯浅 莉子	69kg級S、トータル
	鳥羽	柿本 華那	53kg級S、トータル
5位	鳥羽	柿本 華那	53kg級C&J
	鳥羽	湯浅 莉子	69kg級C&J
6位	鳥羽	西村 深聡	58kg級S
	鳥羽	村尾 萌	69kg級C&J
7位	海洋	佐藤 明夏	75kg級S
	海洋	白敷 千尋	69kg級S
8位	海洋	佐藤 明夏	75kg級トータル
	海洋	佐藤 明夏	75kg級トータル

全国定通制大会(開催日:8月1日~20日)

《 個 人 》

順位	競技名	男女別	学校名	氏 名	種 目
5位	陸上競技	男子	網野間人 宮津伊根 鳥羽	吉田 翔哉 川崎 天斗 野々口勇飛	4×100mR
	陸上競技	男子	鳥羽	野々口勇飛	100m
6位	陸上競技	男子	網野間人	西村 博喜	800m
	陸上競技	女子	西舞鶴	松下 茉由	走幅跳
8位	陸上競技	女子	宮津伊根	後藤 ずず華	円盤投
	陸上競技	男子	朱雀	藤本 千都	走高跳



ウエイトリフティング女子 48kg級 海洋高校 井崎 茅夏



ウエイトリフティング女子 学校対抗 鳥羽高校



ハンドボール男子 学校対抗 洛北高校



ボート女子 シングルスカル 朱雀高校 四方 美咲



なぎなた女子 南陽高校 中熊 麻衣



レスリング男子 66kg級 京都八幡高校 志賀 晃次郎

全国中学校体育大会(開催日:8月17日~25日)

《 団 体 》

順位	競技名	男女別	学校名	種 目
5位	ハンドボール	男子	京田辺市立大住中学校	学校対抗
6位	剣道	男子	久御山町立久御山中学校	学校対抗
	体操競技	女子	亀岡市立亀岡中学校	学校対抗

《 個 人 》

順位	競技名	男女別	学校名	氏 名	種 目
3位	陸上競技	男子	宮津市立宮津中学校	木村 稜	200m
	水泳競技	女子	京田辺市立大住中学校	渡会 円香	200m背泳ぎ
5位	水泳競技	女子	宇治市立宇治中学校	池本 屈沙	100m自由形、200m自由形
	水泳競技	女子	京田辺市立大住中学校	渡会 円香	100m背泳ぎ
6位	陸上競技	女子	京田辺市立大住中学校	橋本 充央	1500m
	陸上競技	女子	京田辺市立田辺中学校	山口梨佳子 織田 朝美 渡部 ここ 上村ちひろ	4×100mR
7位	新体操	女子	長岡京市立長岡第三中学校	小西野乃花	総合、ロープ
	陸上競技	男子	亀岡市立東輝中学校	田村 星哉	砲丸投
8位	体操競技	男子	宇治市立北宇治中学校	古川 智英	あん馬
	新体操	女子	長岡京市立長岡第三中学校	小西野乃花	フープ



陸上競技男子 200m 宮津市立宮津中学校 木村 稜



ハンドボール男子 学校対抗 京田辺市立大住中学校



京都府では、子どもたちに「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人の「スポーツごころ(=前向きで積極的な気持ち)」を育み、スポーツ文化の広がりや、共生社会の実現を目指し、府内49校の推進校で、オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値を学ぶことに加え、変化していく社会への対応力やホスト国としてのおもてなしの心、多様な文化の理解を育む「オリンピック・パラリンピック教育」に取り組んでいます。

推進校では、児童生徒とオリンピック・パラリンピアンとの交流や、国際的な伝統料理をメニューにした給食といった様々な取組を行っています。また、京都ならではの、スポーツと文化を融合したオリンピック・パラリンピックをテーマにした和歌コンクールを開催し、府内に在住・在籍している高校生及び特別支援学校生からたくさんの応募が集まっています。

教育局の取組

京都丹波美術工芸教育展

南丹教育局では、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校という幅広い年齢の子ども達の作品を展示し、校種を越えた作品交流を通して、管内の美術工芸教育の推進を図っています。

今年も幼児・児童・生徒達が力いっぱい表現した作品1,130点を展示しました。また、美術・工芸専攻のある亀岡高校や京都美術工芸大学などと連携した取組を進め、その中で制作された作品も展示しました。



第10回開催記念

今年は、第10回開催の節目であり、森の京都博開催の年として、「森の京都賞」を選考し表彰しました。

また、管内府立学校の協力のもと、クラフトの楽しみを味わう木工教室と、保幼小の出展者などへ記念ストラップ贈呈を行いました。



表彰式

マリーゴールドで飾られた舞台上受賞者一人一人に賞状が授与され、会場から大きな拍手が送られました。幼児・児童のかわいい笑顔や中学生の凛々しい姿が見られ、この美術展ならではの素晴らしい表彰式になりました。



今年は、伝統的な文化や言葉・文学に関する学習成果を発表する「ひびかせよう!ことばとところin南丹」と同時開催しました。約6,000人の方々の来場があり、家族や友人と一緒「文化と芸術」に親しんでもらう機会となりました。

今後も、校種間の連携をさらに深め、幼児・児童・生徒の美術・工芸への関心を高め、豊かな心を育んでいきます。



守り受けつぐ 伝統文化

日本の伝統文化や礼儀・作法などの生活文化、府内各地域の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心と技の育成に向けた取組を推進しています。



亀岡市立稚野小学校

ささきとうろう 佐伯灯籠の夏祭り(稚野町)では、人形浄瑠璃が上演されます。貴重な民俗文化財として、国指定重要無形民俗文化財になっています。地域の保存会の指導のもと、子どもたちは熱心に練習し、子ども浄瑠璃を奉納しています。

高校生伝統文化事業

京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などを通じた伝統文化の学習を、すべての府立高校で実施しています。



教育委員の活動

9月16日(金) 乙訓教育局を訪問し、「親育ネットおとくに」協議会事業に参加しました!

乙訓地域の地域活動団体、社会教育団体、企業など19の団体で構成されている「親育ネットおとくに」協議会は、乙訓地域における地域総がかりの子育てを目指し、親が親として育つための学習機会を提供することを目的とした活動を行っています。

この日、府教育委員は、今年度3回目となる協議会に参加しました。「活動を通して見える子どもの様子、親の姿」と題した、加盟2団体からの発表の後、「コミュニケーションのとれない子ども」「地域との関わり」といったキーワードをもとに協議会委員と活発な意見を交わしました。

教育委員の意見

協議では、家庭での食のあり方や言葉の乏しさ、体験不足が課題としてあげられ、子育て世代が抱えるストレスや悩みが寄り添った活動ができるよう、参加者が互いに感心・共感したりしながら自らの気づきを広げていける様子に頼もしさを感じました。

家庭の教育力の向上を考える上で大変参考になりました。今回のように、これから母親になる女性や子育て中の方々の日常の悩みをお聞きする機会をつくり、家庭・地域・学校が手を携え、児童・生徒の生活習慣の改善など、教育力の向上につなげて行くことが大切です。



刺激をたくさんいただいた会議でした。家庭教育を支援するという目的をもって、このように多くの活動団体がネットワークを組んでいたということは大変心強いですが、このようなネットにからず家庭や社会の陰に追いやられて忘れられてしまう子がいることを、常に忘れてはならないと思いました。

がんばる先生の取組 平成28年度京都府優秀教職員表彰受賞者



府立海洋高等学校
川崎 さと美 教諭
(保健体育科)

保健体育科教諭として教育効果を高めるために、ICTを活用した授業を行うなど、生徒の主体的な学びを引き出しています。また、クラス担任としても熱心な指導でクラスをまとめています。

部活動では、ウェイトリフティング部顧問として、世界ジュニア選手権大会出場や全国高等学校選抜大会等優勝の選手を育て、先月の国民体育大会でも優勝選手を輩出するなど、監督としても活躍し、競技力向上に貢献しています。

《個人》

城陽市立寺田小学校	教諭	森下 功子
八幡市立くすのき小学校	教諭	光島 真砂子
京田辺市立新小学校	栄養教諭	汐見 さつき
木津川市立上狛小学校	教諭	志賀 真澄
井手町立井手小学校	教諭	池尻 智恵美
南丹市立園部小学校	教諭	米津 美穂
京丹波町立瑞穂小学校	教諭	由良 知子
舞鶴市立新舞鶴小学校	栄養教諭	赤野 米子
与謝野町立市場小学校	事務職員	堀 眞貴子
向日市立西ノ岡中学校	教諭	佐藤 純
宇治市立北宇治中学校	教諭	辻井 義彦
宇治市立榎島中学校	教諭	辻本 直文
相楽東部広域連立和束中学校	教諭	仲西 淳一
亀岡市立東輝中学校	教諭	村上 智和
綾部市立綾部中学校	教諭	高橋 友紀
福知山市立六人部中学校	教諭	奥村 加津美

福知山市立日新中学校	事務職員	藤岡 玲子
舞鶴市立青葉中学校	教諭	小林 由美
京丹後市立峰山中学校	教諭	菅原 貴司
京丹後市立久美浜中学校	教諭	小森 政志
府立洛北高等学校附属中学校	教諭	中田 賢一
府立洛北高等学校	教諭	山本 育央
府立北桑田高等学校	実習教諭	土井 雅司
府立京都すばる高等学校	教諭	北川 博士
府立園部高等学校	養護教諭	倉ヶ市裕美佳
府立須知高等学校	教諭	岡田 典之
府立工業高等学校	事務職員	奥野 久美子
府立海洋高等学校	教諭	川崎 さと美
府立加悦谷高等学校	教諭	山形 正人
府立久美浜高等学校	学校図書司	伊達 深雪
府立城陽支援学校	教諭	本出 哲子

《団体等》

鳥羽披議会関係教諭	府立鳥羽高等学校教職員
「学びと評価」の改善プロジェクトチーム	府立園部高等学校・附属中学校教職員

シリーズ文化財

国指定史跡 恭仁宮跡(山城国分寺跡)で「恭仁宮発掘探検隊」を実施しました!!

恭仁宮跡は、木津川市加茂町に造られた奈良時代の都城跡です。日本古代史を理解する上で重要な大規模遺跡であることから、府教育委員会では昭和48年度から継続的に発掘調査を行っています。

今年度も9月1日から発掘調査に着手し、10月1日には小学生以上を対象に発掘体験を行いました。前日の雨であいにく地面はぬかるんでいましたが、参加した子どもたちは元気いっぱいに発掘作業を体験し、自分たちが見つけた遺物の水洗いや恭仁宮跡のウォーキングによって、1,300年前の奈良時代の歴史を楽しく学んでいました。

恭仁宮跡の発掘体験は、毎年、府立山城郷土資料館が行っています。

また、同館では瓦や土器など、恭仁宮跡に関連する様々な文化財を常に展示しているほか、様々な体験事業や文化財講座を実施していますので、一度お訪ねください。



のアクセスはこちら



- 山城郷土資料館までJR上狛駅から徒歩20分
- 恭仁宮跡までJR加茂駅から徒歩30分

シリーズ人権

バリアをなくす!

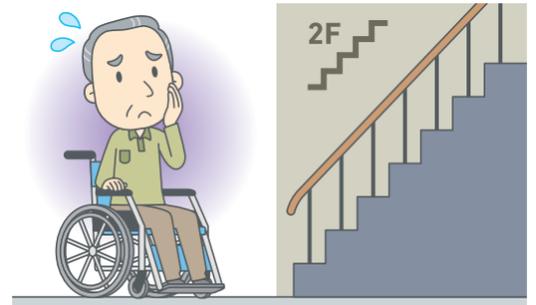
～「障害者差別解消法」と「合理的配慮」～

近年、駅のエレベーターやノンステップバスなど、建物や交通機関等のバリアフリー化が進められてきましたが、障害のある人にとっては、社会の中にある様々なバリア(社会的障壁)によって、まだまだ生活しづらい状況があります。

今年4月に施行された「障害者差別解消法」では、障害のある人からバリアを取り除くための申し出があった時に、負担が重すぎない範囲で対応する「合理的配慮」の提供が、行政機関等や事業者*に求められています。

これは、例えば階段しかない建物で、車いすの利用者が自力で2階に行くことができないのは、「その人に障害がある」ことではなく、「社会に(階段しかないという)バリアがある」ことによるのだという考え方にに基づくものです。階段しかないのであれば、互いに相談の上で、人の力を借りることも合理的配慮の一つです。また、会議等であれば、はじめから1階に会場を設定するといったことも考えられるでしょう。

バリアには施設・設備だけでなく、利用しにくい制度や偏見なども含まれます。障害の有無にかかわらず、年齢を重ねたり、病気やけがによって様々なバリアを感じることもでてくるでしょう。社会にあるバリアをなくし、障害のある人もない人も、そのらしさが認められ、共に生きる社会を築いていくために、一人一人がそれぞれの立場でできる配慮や工夫を考えましょう。



*事業者に対しては対応に努めることとされています。

★京都府では、昨年4月「京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例」の施行に伴い、一人一人にできる具体的なサポート方法などを示した「心のバリアフリーハンドブック」を作成しました。

詳しくは

<http://www.pref.kyoto.jp/shogaishien/documents/handbook.pdf>
(京都府ホームページ)に掲載しています。

京都府高校生等修学支援事業予約申請受付中

内容	勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な高校生に対する支援 ①高等学校等修学金・修学支度金の貸与(貸付)制度 ②修学支援特別融資利子補給制度・修学支度金特別融資利子補給制度 予約申請をした場合でも、初回の振込は、高校等入学後の4月末以降です。 平成28年度中(2月・3月)の振込はできません。
対象	平成29年4月に高等学校等に進学予定の生徒(特別融資は、その保護者)
手続き	「予約申請の案内」(中学3年生の方全員に学校を通じて配付しています。)を読んで、予約申請を希望する場合は、「申請の手引き」を在籍する中学校から受け取り、申請書類を中学校へ提出してください。 ※保護者が府内に在住していること、世帯又は保護者の所得基準などの要件がありますので、詳しくは「申請の手引き」をご覧ください。
受付期間	平成28年12月20日(火)まで(提出先:在籍している中学校) (高校等入学後にも、貸付申請は可能です。)
お問い合わせ先	在籍している中学校 又は 京都府教育庁高校教育課 修学支援担当 電話:075-574-7518 住所:京都市伏見区桃山毛利長門西町(京都府総合教育センター内)

ひとりで悩まないで!

<p>電話教育相談 (24時間受付)</p> <p>ふれあい・すこやかテレフォン</p> <p>075-612-3268 または 3301 0773-43-0390</p>	<p>メール教育相談</p> <p>◆「メール教育相談 京都」で検索してください。 ◆携帯電話からも相談できます。</p> <p>※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。</p>	<p>来所教育相談</p> <p>京都府総合教育センター(伏見区)及び北部研修所(綾部市)で、臨床心理士、精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。</p>	<p>巡回教育相談</p> <p>乙訓(向日市)・山城(京田辺市)・南丹(南丹市)・丹後(宮津市)の各教育局、アグリセンター大宮(京丹後市)で、臨床心理士等が直接会ってお話をうかがいます。</p>
--	--	--	--

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見したら通報してください。



体罰専用電話 075-612-5013
(毎週水曜日 11:30~18:30)

